

婦人	E
041C	
	/

第三回婦人週間実施の手引

労働省婦人少年局

野田

婦人
業

ほし が き

この手引は芥三回婦人廻問を裏施するにあつて、本廻問の趣旨と、運動西貢についての座解を採めていたゞいために、作、はるのです。改良を加えられ各機関が十分に利用されることをのぞみます。

芳竹留 婦人少軍局

一九五一年二月

目次

一	婦人週間について	4
二	第三回婦人週間の概観	5
三	目標の説明	6
	(一) 「市民」とは	
	(二) 日本における「市民」	
	(三) 「よい市民」とは	
四	本週間の重宝	11
	(一) 個人と社会とのつながり	
	(二) 社会のために役にたとうという意識	
	(三) 他国社会の改良	

婦人週間実施の手びき

(一) 婦人週向について

昭和は二年四月十日に行われたが二十二年
 米露戦争の選挙の時に、日本の婦人ははじ
 めて投票を行い、それ以来色々の選挙を通し
 て自分たちの声を政治に反映させることがで
 きるようになりました。この日を記念して国
 民的な祝日としたという運動が民間の婦人
 団体の間に行われていました。労働者では
 昭和二十四年以來これを記念して毎年四月十
 日から一週向を婦人週向とし、婦人の地位を
 たかめるための運動を展開してきました。即
 ち、法律や制度の上では男女の平等がうたわ
 れていますが、実際には婦人に對する社会の
 態度には封建的な偏見や習慣が根強く残つて
 おり、又婦人自身の自覚や実力をかけている
 ことが多くて、文化国家の名にふさわしくな
 りたいので、とくにこの週向をとうけて、
 全国的に關心をよびおこし、婦人の実質的な
 向上をはかることが必要と看えられます。

三、オ三同婦人通間の構想

オ一同、オ二同の婦人通間は婦人の新しい地位を知ることに、封建性の打破というより、いわば婦人のおくれている面をとりかえすことを運動目標としましたが、オ三同婦人通間は一步をすすめてとつと積極的、個人がよい市民になることを目標としています。即ち、婦人が、個人や家庭の幸福は直接世帯社会（村や町）や国や又世界の幸福につながる、といふことをはっきり認識し、生みよい社会を建設するための積極的な運動をさし、又そのための具体的な活動を行うように、という二点を目的として実施します。

この運動は例年各関係機関の協力を得て全国的に展開されるのですが、すでに二同にわたる実施によつて、婦人通間は単行事として各機関がそれぞれの立場で実施する段階になつていますので、労働局としては主唱機関として本通間の目的やスローガンをきめて運動方針を相順にして協力を依頼し、別記のような行事を実施する他は各機関の自主的な動きにまかせることを原則としています。

目標の説明

け「市民」とは

市民といつても大阪市民とか名古屋市

民とかいうように都市の住民という意味で

はなく、英語の *Citizen* フランス語の

citadin などであつて、あらわされるように

「社会を直接に構成しているメンバー」と

いう意味です。すなわち「家」とか「階級

」とか「身分」とかいうようなワケの中に

個人の意志や生活がとじこめられている社

会といわゆる封建社会」に対して、個人が

社会に直接つながりお互い同士が対等に、

水平におかれてゐる近代的な社会の一員とい

うことです。

ですから市民とは、町の人についてと村

の人についてといえますし、X県X郡X村

のある人はX村の市民であり、X郡の市民

であり、X県の市民であり、日本の市民で

あり、更に世界の市民であるといえるの

です。

元来市民とは、中世紀のおわり頃ヨーロ

ッパに勃興した諸都市におきた階級ですが

その後この市民階級は次第に勢力をまして

貴族や僧侶による封建的社会制度にたちむ
かい、議會制度を確立したり、ルネッサン
スや産業革命を實現したり、又政治的には
フランス革命やアメリカ合衆国の独立など
を遂行して欧米に近代社会を建設する原動力
となりました。

現在では「市民」は特定の階級をさすの
ではなく、近代的な社会の成員を一般に
市民とよびます。

又、このように、社会を個人が直接構成
しているという自覚や責任感や、又社会を
よくしようとする意欲を市民の意欲、市民
性、市民精神などといふます。

そしてこういう意欲から生れる積極的な
行動を市民活動といふます。

更に一般に欧米の近代社会を近代市
民社会とよびます。

(二) 日本における「市民」

日本語で市民というと入市の住民とまち
がえられやすいことをおぼろげに、日
本では市民という觀念は從來あまり発達し
ませんでした。それは日本がおくれて資本
主義の仲間入りをしたために、近代的市民

社会として成程するような時間にと、政治的、経済的条件にめぐまねば、一方では相当高度の資本主義経済や文化をとり入れながら、他方では封建的なものを多く留めて今日に至ったからでしだ。とくに婦人の場合は、家族制度によつて二重に重圧をうけて来た、ゆゑ、甲家の娘とか乙家の娘というような立場においての意識や生活があるだけで、社会との直接のつながりはきわめて少かつたのです。それを個人としての教育やたしなみという点では世帯の虎胆をからきながら、市民としての責任感や、それから出発する積極的な市民活動はみることかむずかしがつたわけですね。

終戦以来、法制の改革や、経済の振興に伴つて、婦人の教育の機会が拡大され、社会の進出も促進されたので、家族制度の弱体化と相俟つて、婦人の地位と画期的な変化を示しました。が、それと個人としての教育の向上とか、家庭における地位の向上とか、家庭における発言権の拡大というような裏にとゞまることが多く、個人や家庭の外の社会に対する市民的や意識や市民活動

（一）の

はまた、補綴でありますので個人活動によって
とくにこれを制裁する必要が大いにあるわ
けです。

（二）よい市民とは、

よい個人市民の具體的を要としては故の
ような段階があげられましょう。

①よい個人であること（家庭や社会におけ
る近代的な個人の確立）

○人にめいわくをかけない

○自分の言動に責任をとつ

○道理を尊重する（正しい知識と判断力）

○他人の私生活にあやみに干渉しない

○他人が困っていること、社会にとつて

わるいことに対しては見えて見ぬふりを

しない（正義に対する勇氣ぬヒューマ

ニズム）

○有能であること

②自分たちの手で理想社会をよくして行く、

（しは、団体活動の形をとる）

○他立心（おかみの手をまたない）

○社会をよくするのは自分たちだという

責任感

○自分たちでよい仕事ができるという自

団体

個人

括

○事務的組織的才能と実行力
 3 賢明な選挙によつて正しい代表をえらぶ

○議會政治に対する理解と尊敬

○政治と生活との関係の認識

○政策の政策に対する批判力

○立候補者の至善、人物の判断力

4 政治的圧力となる

へ多く個体の形をとり

議會に働きかけて法案の上呈、可決、

否決に影響を与えたり、予算の狭い方

行政機関の動きを監視し、必要な時は

与論をよびおこしたり陳情したりして

理想的な政治の行われるようにする

し高い知的水準へ奮勉しない

○信託へ利用されたり買収されたりしな

い

○事務的な才能と計画性

5 自分が直接政治にたずさわる

○議員その他の公職、公務員の仕事につ

く

○責任感と特別の才能

んはいねは前掲的なよい市民性を示し、2以下は積極的なよい社会への推進力としての市民活動を示すのですが、2以下の活動はすべてノの市民性を基礎とすべきものです。

四 本通商の重実

よい市民としては石にあげたような段階が考えられますが、オ三回婦人通商の重実としてはとくにその初歩的な段階を強調したいと述います。即ち個人と社会とのつながりをしつかり認識すること、社会のために役立とうという意欲をもつこと、身近な社会の問題を自分たちの手で実際に改良して行くこと、これらの点を重実的に進めていたべきだと思います。

い 個人と社会とのつながり

現代の複雑な世の中では、個人や家庭の幸福は社会へ近隣社会、国、世界への動きによつて大きく左右されます。たとえは

人子供の教育

——皆は自分の家だけで持

殊な教育やしつけを行うことができませんが、現在では、学校教育の良否、友だちの良否が、子供の教育上の大きな要素となります。そして以前には、よい学校

をえらべ、よい友をえらべという風に考
えられました。が、現任は、すべての手段
をよくする、すべての友だちをよくする
ように努力することの方が正しく、又は
るかに効果のあることだと考へるようにな
つていきます。

2. 保健のこと

自分だけ養生をし、自分の家だけ清潔に
していれば病氣にかゝらないと考へられ
たのは昔のこと、交通が発達し、農
園的な行動や生活をすることの衰へなつ
た今日では、遠くの見知らぬ人の病氣
がたゞちにわが家の危機を意味します。
この場合、危険をさけるために、潔にと
いふことであるよりは、すべての人の衛
生状態をよくすること、又予防医学を発
達させること、を考へる方がよいとい
ふことは、常識でしょう。

3. 至道のこと

人々が自給自足の生活をしてゐる時は、
どれだけよく働くか、どれだけ節約する
か、一家の至道状態をきめる要素とした
が、商品至道、貨幣至道の発達した今日

るは、物価のとり下り、労務条件のよしあしが、より大きく原計を左右します。4しせつのこと

世の中が直むにつれて、電気、炭坑、水道、ガス、街道など社会のいろ／＼な施設に頼る面が大へん多くなつています。

こゝいう施設の狀態がわるければ個人の生活がおひやかされることは、停電、断水などの場合を考えればすぐにわかります。又火事や盗難、天災などの防止と社会の施設のよしあしによつて大きく左右されます。

このように個人の生活と社会とのつながりは、社会の進歩とともにますます顕著になつて行くものです。

(二)

社会のために役にあたつたという意識

個人と社会とのつながりがよくわかつている場合にとゞだからすべて社会のせいだ、政治がわるいせいだといつて自分には何の責任もないように考えるのは困ります。日本では、人民による政治の欠けがみじかく、又階級制度にしばられて一般の発言权がよわかつた。ゆゑ、社会に対して一種の

無力感があります。とくにこの無力感ばかり婦人の場合に強いのですが、社会は四人の外にあるのではなく、社会を作り社会を動かしているのは一人／＼の四人であること、社会をよくし、わるくする片方は誰でもんな平等におつてゐること、たゞまつてゐるだけでは社会はよくならないことを認識することが必要で、社会のために夫や子供や家のためだけでなく、少しては役にたとうとする気持ちがあつて始めて市民性があるといふのです。この趣向のスローガンを「社会のために役立つ婦人」となりまして、よくしたのとこの理由によるのです。又婦人団体など、こゝから出発すべきもので、この趣向が希望なのに組織だけをひろげようとするところに日本の婦人団体の弱みがあるといえましょう。

なおこの「社会のために役だとうとする意欲」をばいむものに、いわゆる良妻賢母思想があります。即ち婦人の時務を家庭の中に限定して、夫や子供を立派にすることを通してのみ婦人は社会の役にたとうるという考え方が、男子の向にと婦人自身の向

にどなお強く存在しています。勿論良妻である賢母であることは何時の時代にも大事なことですが、近代的な夫婦関係、親子関係においては良妻賢母の内容がうがって果て、單に夫や子供の身の廻りの世話をしただけ、従順に仕えたり奴力によつて子供を支配したりするこの代りに対等な人間として、あつて精神がなつながらによつて夫や子供の愛情と尊敬を得ることが重要になつてきます。そしてそういう婦人の婦人は当然に個人として、市民として立派であることが要求されるわけです。

ですから、婦人の市民的責任感をもたせながら、同時に封建的な夫婦関係、親子関係を近代的なものにかえて行かためた努力が必要でです。

(三) 庶民社会の改良

婦人が社会の役にたとうと考へた場合、まず身近かの問題に目をむけてほしいものです。この点と(二)にのべたのと同じ理由で日本ではとにかく社会的な仕事という点、一定とびに代議士になることや政治運動をしたりするような高遠なことを考へがちです。

が、その前に、身辺の問題を善処すること
が大切です。それを自分たちの手によつて
行うという志を強調したいと思ひます。こ
れは地方自治の精神とつながるので、こ
の段階をぬきにして政治への参加を望むこ
とは危険なことです。

主唱者同としては「すみよい町や村を作
りましょう」という言葉を壁新聞やリーフ
レットにクロース、アップします。

婦人の市民活動が非常に盛んな米国にお
いて、国会における婦人議員数が十名に定
りないこと、又同じく米国に今日無数にあ
る公立図書館の八割五分までが、婦人たち
の手によつて建てられたことなど、参考に
なりましょう。一パンフレット「アメリカ
婦人の市民活動」参照)

団体活動による地域改良の具体例として
次のようなものがあげられます。

1. 保健

保健所、病院、診療所の設立或は改善

結核、性病の予防

蚊、蠅、鼠、蛭の駆除

食品衛生の改善

応急手当の措置

2. 青少年対策

青年会館の設立或は改善、不良化防止
策、体育館、遊び場、キヤンプ、映画
ラジオの改善計画、ガールスカウト、
ボーイスカウト、子供クラブへの援助
青少年相談所

3. 教育文化

教育施設（職業教育を含む）の建設或
は改善、成人教育

奨学資金

学校給食の改善

図書館、公民館、博物館の整備

教育環境の整備

4. 芸術

絵画、劇、音楽、文学

5. 天然資源保存及び浄化

土壌、水、森林、公園の保存、公園の
建設

美化運動（建物、街路、芝生等）

花、灌木、樹木の栽培

不淨建設物の除去

6. 地方政治

道路

衛生

消防

警察

水道・下水・屑物処理

交通整理

梁塵取締

ス災患防止

家庭

学校

工場

農場

道路

生活の合理化

生活の大同化

衣食住の改善

迷信・悪い習慣の打破

社会厚生

孤児・精神障害児・未亡人

註リこれらの中のあるものは、固本独
 の事業として行われるが、あるものは
 警門の扶闕や地方行政扶闕に力き
 かけて適當な処置をとらせることに

よって達成される。

なお婦人少年局では二十六年年度の年固事業として婦人の市民活動をとりあげる予定です。

注意

○自今の住む町や村をよくしようという場合
よその村や町との対抗意識を意味するもの
ではありません。従来の郷土愛的なものと
市民精神のちがいを明らかにして下さい。

○本通間の趣旨とする市民活動は、特定の政
党や個人に対する圧力を意味するものとな
ないことを各代團では明瞭に理解してい
てほしいと思います。又同時に本通間が特
定の勢力に利用されることのないように注
意して下さい。

以
上

人
務